

科目名		情報処理言語Ⅱ (Information Processing Language Ⅱ)							
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第4学年	機械工学科	学修	1 単位	必修	講義	前期 100 分/週	45 時間		
担 当 教 員		【常勤】内堀 晃彦							
学 習 到 達 目 標									
科目の到達 目標レベル	データ解析、機器制御等を目指した基礎的なプログラミングができるよう、演習時間を多めに取り、C言語の基本習得を目指した講義・演習を行う。 この授業では、配列や手続き(関数)の概念を理解できることを目標とする。								
学習・教育目標	(B) ①	JABEE基準1(2)			(c)				
関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材									
関連科目	情報処理言語Ⅰ								
教科書	「C言語」河西朝雄著 (ナツメ社)								
補助教材等	e-learningシステムで提供する。								
達 成 度 評 価 (%)									
評価方法	中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
指標と評価割合									
総合評価割合	35	35		30					100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	○	○		○					
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	◎	◎		◎					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									
学 習 上 の 留 意 点 お よ び 学 習 上 の 助 言									
プログラミング技術の習得には、プログラミング言語の文法を理解するだけでなく、課題を論理的に解決し、そのアルゴリズムを構築する能力を得ることが欠かせない。これは、講義内容を理解するだけでなく、自ら演習課題のプログラミングを行うことによって習得することができる。積極的に課題に取り組むことを希望する。									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	制御構造	C言語の制御構造について理解する。	(予習・復習) e-learningで制御構造について理解する。
2	演習(制御構造)	制御構造に関する演習課題を解くことができる。	(復習) 演習課題のプログラミングを行う。
3	配列の基礎	配列の基礎について理解する。	(予習・復習) e-learningで配列の基礎について理解する。
4	演習(配列の基礎)	一次元配列を使ったプログラムを作成できる。	(復習) 演習課題のプログラミングを行う。
5	配列の応用	二次元配列, 文字列の配列の応用について理解できる。	(予習・復習) e-learningで配列の応用について理解する。
6	演習(配列の応用)	二次元配列, 文字列を使ったプログラムを作成できる。	(復習) 演習課題のプログラミングを行う。
7	中間試験		
8	関数の基礎	関数の基礎について理解できる。	(予習・復習) e-learningで関数の基礎について理解する。
9	演習(関数の基礎)	関数の基礎に関する演習課題を解くことができる。	(復習) 演習課題のプログラミングを行う。
10	関数の応用	再帰呼び出し等の関数の応用について理解できる。	(予習・復習) e-learningで関数の応用について理解する。
11	演習(関数の応用)	関数の応用に関する演習課題を解くことができる。	(復習) 演習課題のプログラミングを行う。
12	標準ライブラリ関数	文字列操作等の基本的な標準ライブラリ関数について理解できる。	(予習・復習) e-learningで標準ライブラリ関数について理解する。
13	演習(標準ライブラリ関数)	標準ライブラリに関する演習課題を解くことができる。	(復習) 演習課題のプログラミングを行う。
14	総合演習	これまでの講義内容を踏まえた総合的な演習課題を解くことができる。	(復習) 演習課題のプログラミングを行う。
	期末試験		
15	試験返却・解答解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により, 間違った箇所を理解できる。 学習事項のまとめを行う。	
総学習時間数			45 時間
講義			25 時間
自学自習			20 時間